

会議録

1. 付属機関等の会議の名称 第1回「元気センター(仮称)」建設委員会

2. 開催日時 令和4年1月27日(木) 18時30分から19時45分まで

3. 開催場所 松川町役場2階 大会議室

4. 出席者氏名 「元気センター(仮称)」建設委員
米山郁子、原 節子、小木曾 茂
松川町社協:栗畑局長 親愛の里松川:藤澤恵
【理事者】宮下町長
【事務局】保健福祉課:加山課長・佐々木係長
(欠席:神保栄子、飯島光)

5. 議題(公開)

- (1) 設計業者について
- (2) 基本設計について
- (3) 今後の予定について
- (4) その他

6. 非公開の理由(会議を非公開とした場合)

—

7. 傍聴人の数

0人

8. 会議資料の名称

- ・第1回「元気センター(仮称)」建設委員会 次第
- ・松川町元気センター(仮称)建設工事 基本設計業務 基本設計図 2022.01.27
- ・松川町元気センター建設工事 諸元表

9. 協議の概要

1. 開会 課長

2. あいさつ 宮下町長

会議に先立って情報共有。現在親愛の里で新型コロナウイルス感染症のクラスター発生。日曜日
から毎日対応している。局所的な発生。入院できない特殊事情があり施設内ロックダウンで対応。
人手が不足しており社協より応援体制をいただけることに。感謝申し上げる。

元気センター(仮称)建設大変遅いご指摘いただいている。今月の補正で既存建物の解体を上
げさせていただき、金額等審議いただいている。決意を持って進めていきたいと思っている。設計会
社が決まり、設計案の報告がある。新しい施設をどういう風にしていけば良いか是非皆様のお力を
いただきたい。

3. 会議事項

1) 基本設計 設計業者について

① 設計業者について

株式会社アーキディアック(設計事務所) 自己紹介

課長より説明

公募型プロポーザルを開催。一次審査で会社の能力等から6社へ。二次審査にて提案書の提出、12/20 ヒアリングを開催。整備計画のコンセプトに対応できているか基準に沿った選定を行い、株式会社アーキディアックに。今後設計契約を結び、町から提供の資料を基に皆様のご意見を反映させながら設計を進めていく。

→ 質問なし

②基本設計について

株式会社アーキディアックより資料を基に説明。

3つの事業所が一つに。町のリビングとして、誰もが気楽に利用できる施設に。現在延床面積998.53㎡。建築基準法で1,000㎡を超える法的基準が厳しくなる。

□コンセプト:「まちのリビング」、3つの事業の新たな連携、交流を通して、支え合いや生きる喜びが育まれるような建築

□配置計画:3方向の接道、その段差を考慮し計画。整備計画による所定の駐車台数を来客用、施設用に分けて計画、歩車道分離により安全を確保。建物廻りに緑豊かな広場、菜園、花壇を設ける。広場に面してカフェを計画。境界沿いにフェンスを設け安全を図る。

□平面計画:1階は「みんなのリビング」を中心に「あすなる」「放課後等デイ」、2階に「老人デイサービス所」を配置。1階は地域や屋外とつながり交流する、にぎわいのある活動的な空間、2階は落ち着きがあるゆったりとした時間を過ごせる活動空間。

1階について:「まちどま」は、受付、ギャラリー、地域協同コーナー、町民と施設利用者を結ぶ内外一体の空間。「まちカフェ」はオープンキッチンのある喫茶や歓談の場。「みんなのリビング」は、各部屋への行き来で自然と交流が持てる多世代交流の場、吹き抜けを通して施設全体が一体となる。キッチンまわりは、カウンター席やテーブル席など思い思いの居場所を選べる。水回りは集約し、利便性と効率化を図る。事務室はオープンカウンターで共用部と繋がり、建物内外の様子が窺いやすい計画。相談室は別の出入口を設けプライバシーに配慮。

2階について:リビングは吹き抜けを通して1階と一体的につながる日当たりのよい空間。活動室-1は大きな空間で講習会や体操ができる、活動室-2は静養室と一体的に使え。静養室は飲食や歓談、休憩がしやすい、活動室-3は独立性が高く個別の活動がしやすい。

□構造計画:在来軸組工法の木造2階建て、耐震安全性能Ⅱ類で計画。

□省エネ計画:高断熱化、高効率・省エネ型の整備機器を使用。

□防災計画:災害時に避難所として機能するよう、建築・整備を計画。

「質問等」

委員:設計の内容に入る前に、この委員会の関わり方と何回開催される予定か聞きたい。

課長:委員の皆様、各事業所から意見をいただき内容を詰めていく。基本設計は今年度中にまとめていく予定。パブリックコメントでも意見を求めていく。委員会の回数決まっていない。

委員:3月中にまとめていくと言うとかなりタイトなスケジュール。基本設計・実施設計にどこまで意見が反映されるか。予算についても建設委員会で詰めていくべきでは。解体においても高額で困っている。予算も含めて委員として検討していくべきでは。

課長:限られた財源で行っていかねばならない。先日議会でも予算計上。方向性は既存の建物取り壊して新築。現在解体設計をして概算費用を補正で議会にお示しした。今後業者選定、入札の流れの中で、かなり時間を要するため補正に上げさせていただいた。概算で6,500万円。他150万円強計上。現在社会情勢により工事費用の高騰を受け、いち早い着工に向けて動いている。プロポーザルは条件を揃えるため3億5千万の上限をもって提案。今後お示しされた金額のうちどう設計していくか、皆さんと協議していきたい。建設費以外にも付随して色々費用が必要。埋蔵文化財調査費用等トータルすると大きな金額となってしまう。

町長:あくまで予算審議は議会の場。皆様にはユーザーとして使う側のご意見をいただきたい。図面はたたき台。お金の工面はこちら側で頑張ります。行政として気付かない面を皆様からいただきたい。

委員:避難所としてもとの説明。停電時に対応する設備はあるのか。

アーキディアック:どのような仕様でどの程度になるかは今後の打ち合わせになるが、実際災害時機能するものを提案、検討していきたい。

委員:空調はどのような計画か。

アーキディアック:省エネ化を考慮し、電気を熱源とする空調を予定している。居室や通路に等人のいる場

所は空調を計画する。

委員：各施設、スペースは人数が考慮されているか。トイレはお年寄りの女性は腰が曲がってしまうとかなり広いスペースが必要。トイレの数と広さを調整し検討してほしい。ほか静養室は畳敷きのようだが、どのような使い方を想定しているのか、各施設使い方具体的に、どういった活動していくか計画に行政側が書いてもらえれば様々な違った視点で提案できるのでは。

課長：今回のプロポーザルへは検討委員会で練っていただいた「整備計画」をもとに設計案ができています。今回はそれらを加味した中でそうは言っても、の意見をいただきたい。

アーキテック：ご説明のとおりであるが、この案をたたき台にしてより具体的なご要望などを伺い、設計を進めていく予定。

係長：事前に配布した図面に対し本日既に社協様より護憲をいただいている。こうしたご意見をいただき、設計事務所にて対応を検討、またその案を見ていただくような進め方となる。

委員：事前にいただいた設計案等見て思ったことを記載した。今後何十年も使う施設であり、今が一番大事な時。気になる点はいくつかあるが、主要な点では活動室が狭い。ただ 1,000 m²を超えると制約あると聞いたが、そもそも大きくできるのか。中途半端なものだと後々使いづらくなる。

アーキテック：1,000 m²、一つの法律上の区切り。予算もあり可能な建築を割り出した形。予算の枠の中で抑えた設計。今後大きい、小さいを枠の中でやり繰り。使い方など十分打合せを行ってきたい。早々にでも各事業所と打合せを。

委員：予算が決まっている中で限界の大きさという事か。

町長：元気センター(仮称)について、ハブの考えもありここで完結との考えではなく、福祉の拠点の一つとして捉えていく。全体の公共施設の在り方、えみりあホールと同じ建物をいくつも作っていく訳にもいかない。世代間の公平性。公共施設、この先この地域で暮らす人たちが将来に渡り使っていけるものを。また、本計画にあたり現施設を合計した面積よりも小さくするという条件があり、現時点では 1,000 m²より大きくすることは難しい。設計の工夫を期待したい。

委員：この縛りの中で考えていくという事ですね。

アーキテック：今回の町からの提案、3つの施設が1つに言うのは面白く興味深い。それぞれがそれぞれに機能していたのが1つになることで共用して使える、世代間交流と空間の共有。色々ご相談させていただきながら作り上げていきたい。

委員：ほぼこの設計で動かない？

アーキテック：そのようなことはない。具体的に要望をいただいて変わる可能性ある。

町長：この場で建築のプロが答えてくれる。例えば二階の活動室1と2を繋げておいて区切りなど可能か。

アーキテック：可能です。

委員：履き替えコーナーの形状は使いにくいのでは。高齢者が椅子を利用して履き替えると混みあってしまい渋滞となってしまう懸念がある。もっとシンプルな形状でいいのでは。。

アーキテック：必要な足数等確認し、形状も含め検討していきたい。

2) 今後の予定について

①意見の取りまとめについて

係長より説明

いろいろなご意見をありがとうございました。今後の予定は2週間後の2月10日までに、文書等にて更にご意見をいただき、それを設計業者で検討し、次回の委員会を予定します。また、社協さんには今回ご意見をいただいているので、これをふまえて早々に社協さん、設計業者との打ち合わせを設定したい。今後進捗状況など、できればご報告させていただきながら進めていきた

3). その他

委員：伊那大島駅から登ってくる歩道の点字ブロックが剥がれているが、何年も修繕されずそのまま。顔になる場所である。この施設ができるなら尚更である。

町長：県道の附帯整備で以前より県へ依頼しているが修繕されずにある。改めて強く依頼する。

4. 閉会

(午後7時45分終了)